



地域で支える こどもの 居場所

体験
本格的な
機材を使った
動画制作

地域の
今昔を知る
まち探検
体験

地域の
皆さんと
一緒に
清掃活動
体験

体験
盆踊りで
多世代交流

夏休みの
宿題を
サポート
学習

夏ならではの
流しそうめん
食事

区は、夏休み中に地域ぐるみで子どもたちを見守るため、皆さまの寄付による「子ども生活応援基金」を活用し、「長期休暇中の子どもの居場所づくり補助事業」を実施しました。

今年度は10団体が本事業を活用しました。地域の皆さんによるさまざまな体験活動・学習支援・食事提供などを通して、子どもが安心して過ごせる居場所づくりの取り組みが広がっています。

子ども生活応援基金へのご寄付をお願いします

「長期休暇中の子どもの居場所づくり補助事業」のほか、子どもたちを地域で温かく包み込むような支援に活用しています。詳細は区HPをご覧ください。



▲詳細はコチラ

補助事業を活用した10団体のうち、2団体にインタビューしました

応援の輪が広がって

地域のレンタルスペースを活用して、こどもの学習支援と居場所の提供を行いました。この補助事業に後押しされ、団体として充実した取り組みができたと思います。最初は緊張していた子ども遊んでいくうちにすぐに仲良くなって、たかまじいと感じました。学校を越えたつながりができるのを見ているとうれいそうですね。この活動を知った近所の方から、協力や応援をいただくなど、地域との連帯感も生まれました。



ロードバンク大田の皆さん

ありそうでない居場所づくりをめざして

夏休み中の子どもたちの居場所「お気軽カフェ」として、15日間、多くの方が来やすいように午後1時～8時に町会会館を開放し、体操や地域清掃、ランチ会などを開催しました。大学と近隣の町会、小学校PTA、商店街、福祉事業者が、互いのできることを持ち合いながら取り組んだことで実現できたと思います。子ども同士が遊んでいるそばで、大人がくつろいでいたり、本を読んでいたりとそれぞれにとって居心地の良い居場所ができたのではと感じています。帰っていく子が「またね」と言ってくれたのが印象的で、必要としてくれていることがうれしかったです。



「お気軽カフェ 大森鶴渡町会 夏休み居場所づくり」関係者の皆さん